

数学

<全体分析>

試験時間 60分

解答問題数 4題

解答形式

問1、問2、問3は客観式、問4は記述式。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

※大問は1題減って4題になったが、全体としての分量は変化なし。

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

出題の特徴

標準的な問題が中心である。

その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

4年連続で問1は小問集合であった。問3で経済活動を題材にした出題があった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
問1 (1)	整数	数学A	20220の正の約数の個数	易
(2)	確率	数学A	さいころの目	標準
(3)	図形と方程式 積分	数学II 数学II	放物線が直線から切り取る線分の midpoint の軌跡 $\frac{1}{6}$ 公式	標準
問2	平面ベクトル 微分	数学B 数学II	三角形、面積比 3つの三角形の面積の比（3次関数）の最大	標準
問3	2次関数 数列	数学II 数学B	2次関数の最小値 漸化式の立式、階差数列	やや難
問4	2次関数 2次方程式 微分	数学I 数学I 数学II	2つの放物線の共通接線 接線	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

2021年度入試より数学の学部独自試験は実施しない。